



芝小だより

5月号

令和5年4月28日
発行者 港区立芝小学校
〒105-0014
港区芝2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
FAX:03-3456-3071

三つの「あ」と三つの「い」

校長 川原 哲郎

校庭で活動する子供たちの頭上に「こいのぼり」が風になびく季節になりました。子供たちが入学・進級してからもうすぐ一か月がたとうとしています。1年生も学校生活に慣れてきました。登校後、6年生が朝の支度の手伝いをしていましたが、今では手伝い無しで素早く準備ができる子が増えてきました。休み時間も、元気に校庭で遊んでいます。他の学年の子供たちも、新しい気持ちで頑張ろうという思いが伝わってきます。新しいクラスにも慣れ、落ち着いて学習や運動をしたり、休み時間友達と元気に遊んだりしている姿が見られます。

4月、毎年子供たちに話すことがあります。それは、子供たちに当たり前のようにできるようになってほしい三つの「あ」、「あいさつ」「ありがとう」「あとかたづけ」と、絶対にしてはいけない三つの「い」、「いじめ」「いじわる」「いやがらせ」についてです。これらは、相手のことを考えることにつながり、子供たちが良好な人間関係を築くときや、社会で生きていく中で基礎の部分となる大切なことだと考えています。よく「子供は、人の間で揉まれて育つ」と言われることがあります。集団で活動する学校は、まさに「人の間で揉まれる場所」です。自分の言いたいことや気持ちがうまく相手に伝わらず、言い争いになったり、けんかになったり、仲直りしたりして人間関係をつくっていきます。譲り合う気持ち、我慢すること、辛抱すること、友達と協働することの楽しさや喜びなど、多くのことを学びます。学校は、いわば小さな社会です。集団の中でしか学べないこと経験できないことが、数多くあります。いろいろな人と接する中で、この三つの「あ」と「い」を意識し、多くの友達をつくり、成長してほしいと思います。

こうした子供たち一人一人の育ちの根底になくてはならないものは、家庭の愛情により育まれた安心感、安定感です。子供は、愛されている、認められているという安心感からさらなる自信や意欲をもち、周りの人とかわり、友達によさに気付いたり、自分のよいところに気付いたりして大切にしようとしていきます。そしてそのことが、粘り強く取り組む心や我慢する心を育てていきます。家庭は活力源です。芝小の子供たちが、自分に自信をもち、学校で友達と共に学び、共に競い合う中で成長してほしいと願っています。ぜひ家庭でも、三つの「あ」三つの「い」について、お子さんと話してみてください。

5月中旬からは、運動会の練習が始まります。友達と力を合わせることで、心一つにすることなど、多くのことを学び心身ともに成長する機会です。子供たち一人一人を認め、励ましながら取り組んでいきます。子供たちが元気に登校できるよう、御家庭での健康管理等もよろしくお願いたします。

5月「健康診断の結果を活用しよう」

4月から一か月にわたり定期健康診断を実施してきました。定期健康診断を通して子供たちには、健康な身体は自分で作るということ学んでほしいと思っています。御家庭に健康診断の結果をお返ししますのでぜひ、お子さんと一緒に御覧いただき、より健康な身体を育むためには、どのように生活をしたらいいか話し合う機会にさせていただければ幸いです。

例えば、視力検査の結果からゲームや動画視聴の利用時間のルールを決める（視力低下予防）、歯科検診の結果からお菓子の食べ方について話し合う（虫歯予防）など、お子さんの健診結果に併せて御家庭で御指導をお願いします。定期健康診断が子供たちの自律性を育むための一翼となることを願っています。

(養護教諭 村上咲)

学びの部屋

～1年生の教室から～

入学式から約一か月。子供たちは、朝の支度や給食の準備などにもすっかり慣れ、自分たちでどんどんできるようになってきています。いろいろな学習や生活の中で、初めてのことが日々出てくるのですが、それらのことにも、「できる!」「わかった!」「やってみよう!」と、キラキラした目で、生き生きと取り組んでいます。

また、挨拶やお礼なども欠かさず姿を多く見かけます。そんな姿をこれからも大切に、価値付けしたり丁寧な指導したりしていきます。

(1年担任 山崎香苗 長山桃加 佐藤昭夫)

